

メディアコミュニケーション演習/

Media Studies in English と日本語

担当教員: 志柿浩一郎 Instructor: Koichiro Shigaki

Image Creator: Kittisak_Taramas | Credit: Getty Images/iStockphoto

今日の予定

- 授業アナウンス: プレゼンの評価基準付け加え
(単にやっただけではい終わりだったら損する形にする)
- 英語の歌を唄う練習 15分程度
- **グループ活動1:** ディスカッション訓練1として、決められたテーマについて、話し手を聞き手に分かれ、会話をなんとかして5分続ける。
- **グループ活動2:** 発表の内容を詰めていく作業

プレゼンの評価に関して (余談)

評価方法（大学ルールに従う・半分建前）

5ポイント領域で評価（目的でもある）

1. メインポイント（主題、テーマ、論点）が明確に書かれているか（発表で言えてるかどうか）
2. （可能な限り）論理的に論じられてるか（筋が通っているかどうか）
3. ゼミで説明したこと伝えたこと、基礎ゼミでやっているだろうことが出来ているかどうか
4. 考えを言う場合、サポート（根拠）が明確にかかれているか
5. その他（表現など。+読んだ時、話した時の印象、先生の主観はいっっちゃうけど）

題: ジャーナリズムの定義再考



... (中略)

電子提出ファイル
に、チェックボック
スを貼って✓して機
械的に評価してきま
す。

評価方法（備考）

備考

- 1.自分の考えたことをなるべく言う
2. 「先生の期待しそうな答え方」というのは考えない。当たり前障りのことも言わない。（先生の授業はつまらない、面白くしろと言われて吹っ切れた。昨年、東洋大の先生や基準にあわせようとしたけど。表面的なことや優等生みたいなこと言ったら印象は悪くなるので、評価は下がる可能性あり。ただし、とりあえず頑張ったってことで、悪くも良くもない「C」評価)
- 3.自分の考えを言う場合は、筋が通るようにすること。= 論理的にまとめる=理由、説明、根拠を示す

評価方法（備考）

備考

- 1.悪い例1: 「SNSは私達の健康や心に悪い影響を与えます。だから気をつけましょう（じゃあ、使うなっていうんか？でお前ら使ってるんだろ？何、高校の先生や大学の先生が言いそうな良いこと言ってるの？先生の言うこととか嫌いなんじゃないの？）
- 2.悪い例2: 「報道機関は我々国民に真実を伝えなければならぬ。そのために国は監視を強化するべきだ」（実際にジャーナリズム論でリアペのコメントにあったもの。授業の内容全く聞いてなくて、先生がそう考えてそうだったからと学生が言ってきた。正直言う。講義で話したこと聞いて、配布資料見て考えようよ。なんか気持ち悪い。）
- 3.悪い例3: 「現在、放送などのオールドメディアは生き残りをかけて、新たな戦略が必要である」（これは実際に業界の人が最近言っていたこと。ただ、すでに10年以上も前にネットがでた時に言われたことそのまま…で今どうなったん、日本の業界？先生がAD君してた時にオジサン達が話してたよ。10数年以上も前に。）

狙い、目的

1. 自分の思ったことを整理して文章化し、論理的に表現する、そのための訓練の場
2. 「本講義で得た知識を応用し、自ら課題を見つけ主体的に学習を進めていく習慣を身につける」そのための訓練
3. クリティカル・シンキングの能力の向上（言うが易しだけれど。）

狙い、目的

- ・Critical Thinkerになるために → Critical Thinkingする人 → 「クリティカル・シンキング (批判的思考能力)」 する人になるために…

“Ask questions such as ‘How’s this gonna affect me?’ ‘What are the consequences?’ ‘Should I care?’ ‘How important is it (for me, for my family)?’

ASK THIS QUESTION: SO WHAT?

Critical Thinker = "somebody that(who) can take a situation and analyze it. If homies (つるんでる仲間) said they're getting to it (売買などの犯罪などに), we've never sit down and think about consequences. Ask question "what's gonna happen to me if I take(follow) this?" "How this is going to affect me?" "So what?" "Where am I going to end up?" A good people can make a bad mistake... (省略)

先生が大学の授業と一緒に履修していた、過去によるしくないことしてたという犯罪歴あるオジサンの説教

刑務所にいる間、時間ある時、本を読みまくったとのこと

@City College of San Francisco

クリティカルに考える人 = 自分で、自分のおかれている状況を意識的に把握し分析、自分から判断していくことができる人（そういう人にならないといけない）。

もし、つるんでた仲間が、社会的に何か悪いとされることに誘ってきた場合、友達だしと思っっちゃうと、誘いのっちゃうんだろ？一度立ち止まることもなければ、何も考えないかもしれないけれど。以下の質問を自分に問うてみよう。ここで（知人に）言われたことに従ったら、何がおきるのか？どんな影響が自分にとってあるのか？それで？最終、どこにいきつくの？いい人であっても間違いは沢山する。

（それを、政府とかさ、大きな組織にあてはめてみ？だから勉強しないとね。いろんな意味で、いろんな分野で。で、お前は授業文句言っているけど、何したいの、**College boy**）

先生が大学の授業を一緒に履修していた、過去によるしくないことしてたという犯罪歴あるオジサンの説教

刑務所にいる間、時間ある時、本を読みまくったとのこと

@City College of San Francisco

La Rebelión de las Masas

Ortega y Gasset

オルテガ・イ・ガセット

神吉敬三 訳

Kanki Keizo

大衆の反逆

ちくま学芸文庫

潮文堂学芸文庫



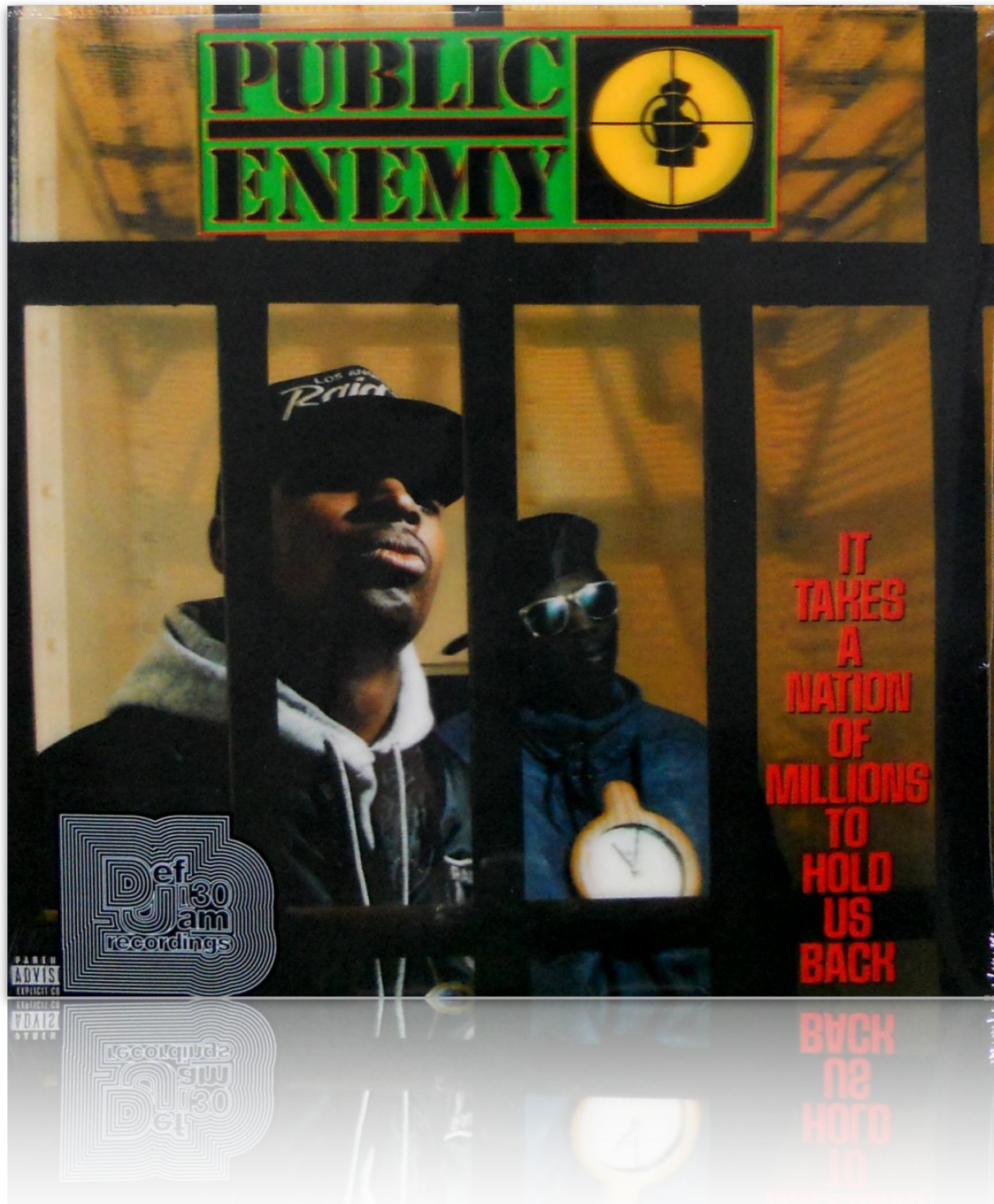
THE
REVOLT
OF THE
MASSES

José Ortega y Gasset

ホセ・オルテガ・イ・ガセット

- 1883年～1955年
- スペインの哲学者
- 「大衆の逆襲」という著が有名
- 今のポピュリズムに関係する話
しと批判を90年以上前にした人
- 大学教授、科学者、ジャーナ
リストなどの専門家集団は究極の
大衆「近代の野蛮人」で愚か者
と批判したことで有名に





Don't Believe the Hype

「勉強し続けないとね」

= 「知識、経験知を得続けないとね」

= 「考えていかないとね」

大学は資源がいっぱい

もし先生の期待する答えを言うのであれば（備考）

1. オリジナリティを重視したい（なかなかムズカシイし、オリジナルなものって実は無い感じだけれど）
2. （もし自分がそう思っていないのであれば）社会通念上「ええカッコしい」に見えなくもないこと、誰もが言いそうな良いことを言おうとしない。表面的に聞こえる…（本気で世間一般に「良いこと」に賛同しているのであれば、持論も展開しつつ書くこと）
3. どこかで聞いた表面的な正論を復唱するだけにとどまらず、その先を論じること。よくない例: 「SDGsは大事だ！」 「報道機関は真実を国民に提供するべきだ！」
4. 先生が授業でいったことをあたかも全て正論であるかのように書かない、復唱しない（逆にこっちが怖くなる。吟味せーよ。それじゃ専門家に聞いてみました！って責任全部専門家に丸投げするアナウンサーと変わらんがね）
5. 結論はありふれてるんだけどさ、考えるのめんどくさくて全部適当にやっちゃうでしょう？それやめるための訓練として。

ついでにこれはありふれてるけど

将来、留学・仕事・ワーホリも含め海外、あるいは、
国内に留まるなら、自分の知ってる環境から
外にでることを考えてほしい
もうすでに日本に留学してる場合は、
ここで培った「ものさし」を大事にすること

英語の歌を唄う

This is must! It is required!
You hate to sing? I don't care. At least,
move your mouth and say something

グループとというか

ペア活動1に関して解説

5分間なんか話す・聞く訓練

- 伝えるスキル、話すスキル、相手を理解するスキル、聞く能力（話に耳を傾ける）

ネットも含めメディア関係の業界→自分を対象化し語るスキル、他者を知ることがは必要条件（大半はできない。あるいはできると思って自己陶醉してて自称クリエイターとか言う..)

語学能力を上げるために

- 前回は適当でも話すこととした。この効果→とりあえず間違っても話す訓練になる。伝えることを重視する。聞く側がなんとか意味を汲み取る訓練になる。母語で言えることが何で、他言語で言えないことが何か分かる、自分の語彙・レベルが自覚できる、なんか自分が思ったこと言う自信はつく
- 落とし穴 → 文法的にはぐちゃぐちゃ、表現は多分正しくない、誤解だらけ、英語英語の授業だったら最悪評価、中身のある話がしずらく会話ぐちゃぐちゃになる

5分間なんか話す・聞く訓練

(1人5分話す×2、役割入れ替えて)

- 話し手、聞き手を決める
- 話し手は決めたテーマで、自分のことを、考え、感じたこと、積極的に話す。
- 聞き手は、質問の仕方工夫し、なるべく相手が話しを続けるように仕向ける。

即興できない？

じゃあ、テーマを決めて
日本語で話す内容をつくる
それを英語にしていく

5分間なんか話す・聞く訓練

(1人5分話す×2、役割入れ替えて)

- 話し手、聞き手を決める。テーマを決める
- 決めたテーマに関して、日本語で言いたいことを箇条書きで書く
- それを英語の箇条書きにする（箇条書きだとフルセンテンスが言えない、文法間違いが不安だという場合は、スピーチ原稿を作ってしまう）
- それに基づいて会話する（ただし、スピーチ原稿を読んで終わりではなく、あくまで会話になるようにしていく）

繰り返す。秋学期は、メディア
に関係したテーマに置き換わ
ると思って

- **テーマ例:** 高校生活、部活・サークル、大学生生活全般: おもしろい授業、「クソ」な授業、関心のある専門分野、部活・サークル、性格: 自分から見た私、他人から見た私、バイトでの私、将来の夢、今ハマってること、特技など
(身近なものであること)
- **応用編 (自分の考え):** ジャーナリストや情報発信に関わる人材になるには、大学でこういったことを身につけるといいと思う??

グループ活動2

テーマが具体化したら

決めたテーマで...

- 問題点や主要な論述する点を設定する（おおよその主旨を決める）
- 仮の結論（仮説）が出せるようであれば出す（人文系は出しづらい）
- 概要や概論がわかるものを探す（そこから全体像を理解する）
- 引っかかる点、自分の問題意識が何かを考える。それに近い問題を論じている論述を探す
- 具体的な発表内容をつめていき、役割をきめていく



評価方法（備考）

備考

- 1.自分の考えたことをなるべく言う
- 2.「先生の期待しそうな答え方」というのは考えない。当たり前障りのことも言わない。（先生の授業はつまらない、面白くしろと言われて吹っ切れた。昨年、東洋大の先生や基準にあわせようとしたけど。表面的なことや優等生みたいなこと言ったら印象は悪くなるので、評価は下がる可能性あり。ただし、とりあえず頑張ったってことで、悪くも良くもない「C」評価)
- 3.自分の考えを言う場合は、筋が通るようにすること。= 論理的にまとめる=理由、説明、根拠を示す

発表内容の肉付けをする

1. 発表の構成を考える

2. メインポイント、主張したいこと、論じたいこと、自分の考えを言う（～思いました、考えました…は小学生のように聞こえるから先生としては辛い = 評価ダウン）

3. 面白くする（先生が皆さんのような学生から言われたこと…面白くするって何やねん？先生お笑い芸人じゃないのだから？あんたの面白いって基準なに？）

4. 先生の基準: オリジナリティ、ヘエ～そうなんだって思える、なんか意外、聞いてみようって思えるもの

5. 何もなく、単にこなして、大学で過ごすなら、正直あなたのためにはならない。何もしないは、最悪。大学に対して文句言う資格なし。